



閉じる



ダウンロード



印刷



文字拡大



文字縮小

芦屋市 令和 2 年 4 月 臨時会（第 3 回） 04月28日－02号

P. 22 1 0 番（大原裕貴君）

◆ 1 0 番（大原裕貴君）＝登壇＝日本維新の会を代表し、報告第 6 号、令和 2 年度芦屋市都市再開発事業特別会計暫定予算、及び第 3 6 号議案、令和 2 年度芦屋市都市再開発事業特別会計暫定補正予算（第 1 号）について、賛成の立場で簡潔に討論をいたします。

本件については、これまでずっと続けてきた地権者との交渉を継続する目的による補正予算であると認識をしています。長きにわたって築き上げてきた信頼関係であっても、崩れるときにはあつという間に崩れてしまうというのは、再開発事業に限った話ではありません。信頼関係を継続したいという申し出については一定の妥当性があると考えます。

昨今の社会情勢でいいますと、コロナショックもあり、さらに経済が冷え込むおそれがある中で、支出を限りなく抑制すべきであるという考えも理解します。しかし、経済成長の起爆剤となり得る再開発事業を継続するという考えも、また正しい考えであろうと考えています。

一方で、事業そのものの総額が高騰しており、大きなリスクをはらんでいるということは否定できません。地権者との交渉を進める一方で、公益施設の考え方の再検討、あるいは関連事業の考え方の再検討などドラスティックなものや、業務効率の見直しといった細かな部分など大小含めたコスト削減の取り組みを進めること、そして再開発事業を市内発展の起爆剤の一つとして成功させる可能性を少しでも上げるための努力を惜しまないことを要望し、報告第 6 号、第 3 6 号議案に賛成をいたします。

以上で賛成討論といたします。